

知っておきたい 診療技術

外来化学療法センター リニューアル

近年、がん遺伝子変異に基づく個別化治療やがん免疫療法（免疫チェックポイント阻害薬）が様々な領域のがん治療で保険適用となり、治療の選択肢が増えてきました。「不治の病」といわれたがんでも、長期生存の期待が持てる時代になっています。がん治療には外科治療（手術）、薬物療法（抗がん剤治療）、放射線治療などの種類があります。

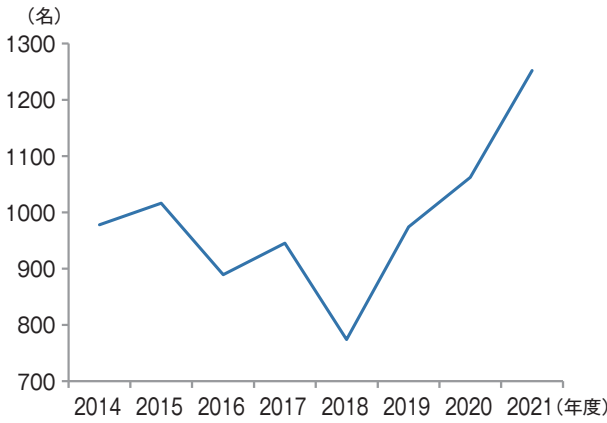


専門スタッフによるチーム医療を行っています

抗がん剤治療には内服薬、注射薬、入院が必要な治療、外来通院が可能な治療があり、医師は患者さんの病状、社会的背景などを考慮し治療方法を決定します。「外来化学療法センター」では、外来通院で抗がん剤治療を受けることになった患者さんの点滴治療などを行っています。

センターの実績とフロアの拡充

外来化学療法センターでは肺がん、乳がん、消化器がん（胃、大腸、肝臓、膵臓、胆道）、腎がん、膀胱がんなどの抗がん剤治療を行っています。ここ数年、外来通院で抗がん剤治療を受ける方



外来通院による抗がん剤治療患者数の変化



増床したベッド

身体に負担なく治療を受けることができます

が増加しているため、この度、外来化学療法センターの拡充・改修工事を行いました。ベッド数を7床から9床に増やし、センター内にトイレも造設しました。今回の改修により待ち時間を短縮し、患者さんに負担の少ない治療を提供する環境が整いました。

多職種の間わり

がん治療では、治療に精通した専門性が必要とされるだけでなく、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医療ソーシャルワーカーなどの医療スタッフがチームとして連携しながら治療を遂行することが求められます。



新たに設置したトイレ

広々としたトイレはオストメイトにも対応しています

当院では各領域の専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医を中心に、がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師などが外来化学療法センターに関わり、安全かつ安心できる治療の継続を心掛けています。

抗がん剤治療と聞くと、副作用の不安が大きいと思います。当センターでは吐き気、食欲低下、しびれ、脱毛など様々な症状に対して、それぞれの専門スタッフが対応する体制をとっています。治療中の悩み、不安はお気軽に「外来化学療法センター」にご相談ください。

（外来化学療法センター長

中田岳成）